めぐみの森だより　2023年５月号

社会福祉法人　雲柱社　めぐみの森保育園　　☎　03-3480-4448

新年度が始まって１か月。新入の子も慣れてきたころかなと思います。4 月初めは朝から元気な泣き声が聞こえていましたが、日に日に泣き声が聞こえる時間が短くなってきたのを感じます。朝は泣く姿に後ろ髪をひかれながらお子さんと離れる日々を送った保護者も多いのではないでしょうか。時には進級した子が涙する姿もあり、子どもたちはそれぞれ「いま」の環境で精一杯過ごしているのを感じます。

私は今年度もフリーでいろいろなクラスに入らせてもらい、たくさんの子どもたちと関わることができ、毎日楽しく過ごしています。

１か月それぞれのクラスに入ってみて…

つくし組：4 月当初はみんな泣いていましたが、１～2週間すると、たまに入る私の顔と担任の顔を見比べて、私を見て泣く姿が見られました。「担任」の顔を覚えて安心できる居場所になっているのだなと感じ、小さいながらもよくわかっているなと思いました。

れんげ組：まだ人見知りで泣く新入の子が、進級した子が近づくとそっと顔を寄せてニコニコする姿が見られました。「毎日同じクラスにいるお友達」と認識し、言葉はなくても 2 人の気持ちが通じ合っている瞬間でした。

すみれ組：私が部屋に入ると進級の子が来て「せんせ、このこしってるか？」と聞いてきたので「知ってるかって（笑）」と思いつつも、「ん～〇〇君かなぁ」と答えると「うん、きょうないてないね」と、泣かなくなったことに気づいて教えてくれる姿がありました。「新しい友達」を意識しているのですね。

ちゅうりっぷ組：毎回のように「はんたい？」と、上履きが左右反対ではないかを確認する子どもたち。時々「反対だね」と返すと、がっかりするでもなく「あ！はんたいか！」となんだか嬉しそうにささっと履き直す姿に成長を感じます。

ひまわり組：4 月当初、トイレに行っては、勢いで思わずちゅうりっぷ組に戻ろうとする子どもたち。ドアの前まで行って「あ！まちがえた！あははは！」と、進級したからこその間違えを楽しんでいるようでした。

ゆり組：帰りの会を一緒に過ごす機会があり、私が前に座ると「先生が話すかもしれないよ」と言いながら手を膝に置いてピシッと座る姿に思わず「え！小学生かと思った！」と言うと「まだだよ～」とニヤニヤしながらもまんざらではない姿。ここから１年早いんだろうなぁと、もうしみじみしてしまいました。

今年度も廊下で見かけた時には、保護者の方々とたくさん子どもの姿をお話したいと思いますので、声を掛けていただけると嬉しいです。帰ってきた時に、我が子のかわいらしい情報を聞いて、少しでも「あぁ疲れがとれた～」と感じてもらえたらいいなぁと思っています。めぐみの森保育園が子どもたちにとってはもちろん、保護者の皆様にとっても、職員にとっても「ホッとできる場」でありたいと思います。

（記：副主任　菅原　飛鳥）

今　月　の　お　す　す　め　紹　介

・「キレートレモン　クエン酸2700」胃がキューっとなるくらいすっぱくて、何かに効く気がします。

オーバー40の職員にそっと渡そうと思います(笑)

①　最後の晩餐に食べたいものはこれ！②欲しいものはこれ！③至福の時間はこれ！

①　焼肉！　立川に、タンが美味しい焼肉屋さんがあるんです。

②　電動自転車！　いつか車を手放すなら欲しいなぁと思っています。

③　休日何も考えずに外で、美味しいものと一緒にビー〇を飲んでいる時！